



USB-AUDIO INTERFACE

UW10

取扱説明書




安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	---

 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	--

この製品の内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



警告

ケーブル



必ず実行

USB 端子にほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。



禁止

ケーブルをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、ケーブルに重いものをのせない。

ケーブルが破損し、感電や火災の原因になります。

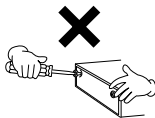
分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気が多いところで使用しない。

感電や火災、または故障の原因になります。



禁止

濡れた手でケーブルを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本体の上にもうそくなど火気のあるものを置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

ケーブルがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに USB ケーブルを抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



注意

設置



禁止

直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。

本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話などの電気製品の近くで使用しない。

楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



禁止

不安定な場所に置かない。
本体が転倒して故障したり、お客様や他の方がけがをしったりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様や他の方が転倒したりするおそれがあります。

接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、コンピュータ以外の機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。

感電または機器の損傷の原因になることがあります。



手入れ



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

使用時の注意



ご注意ください

本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをされるおそれがあります。



禁止

パネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐにUSBケーブルを抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。
本体が変色/変質する原因になります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをされた原因になります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。



音のエチケット

これは日本電子工業会「音のエチケット」キャンペーンのマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を開めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

ごあいさつ

このたびは、ヤマハ USB オーディオインターフェース UW10 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

UW10 は、オーディオデータの転送を可能にした USB インターフェースです。USB 端子装備のコンピュータと接続して、パワフルなデジタルオーディオをお楽しみください。UW10 の優れた機能を使いこなしていただくために、この取扱説明書をご活用いただけますようお願い申し上げます。また、ご一読いただいた後も不明な点が生じた場合に備えて、大切に保管されますよう重ねてお願い申し上げます。

目次

UW10 の特長	6
USB に関するご注意	6
音楽著作権に関するご注意	7
パッケージの内容	8
付属ソフトについて	8
動作環境	10
各部の名称と機能	11
オーディオ信号の流れ	12
接続について	13
ドライバのインストール	16
[Windows の場合]	16
[Macintosh の場合]	25
[付属ソフトウェアの設定について]	26
仕様	29
故障かな？と思ったら (Q&A)	29
ユーザーサポートのご案内	32
保証とアフターサービス	32
ソフトウェアのご使用条件	35

この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

- 巻末に付属ソフトウェアの使用許諾が記載されています。ソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。CD-ROM を開封すると、ご使用条件に同意したことになります。
- 本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- 「ソフトシンセサイザー」は、ヤマハ株式会社の商標です。
- OMS[®] および **OMS**[™] は、Opcode Systems, Inc. の商標です。
- MPEG Layer-3 audio compression technology licensed by Fraunhofer IIS and THOMSON multimedia.

UW10 の特長

デジタルとアナログのオーディオインターフェース

オーディオ / MIDI シーケンサーや MIDI 音源 (MU シリーズ) などを組み合わせた音楽制作だけでなく、MD やカセットテープなどをコンピュータにデジタル録音するためのインターフェースとしても使えます。また、アナログ入力は UW10 本体でデジタルに変換するので、コンピュータのノイズによる音質劣化を防ぎ、クリアなサウンドでレコーディングができます。

ケーブルをつなぐだけの簡単接続

USB で接続するので、コンピュータの電源を入れたまま、ケーブルの抜き挿しができます。また、USB のバス電源を使用するので、電源アダプターも必要ありません。

付属ソフトウェアでさまざまなデータに対応

付属のウェブエディター TWEplus では、UW10 経由での録音や、各種ウェブファイル (MP3、WAV、AIFF) の編集が可能です。また、付属のソフトシンセサイザー S-YXG50 を使えば、MIDI データをコンピュータ上で再生できるだけでなく、UW10 のトラックダウン機能で MIDI データを TWEplus にて録音、ウェブファイルへの変換ができます。

Windows と Macintosh に対応

Windows 98/Me/2000/XP および Mac OS9.04 以上 (Mac OS X は非対応) に対応しています。

USB に関するご注意

以下の状態で USB ケーブルの抜き挿しをすると、コンピュータがハングアップしたり、UW10 の機能が停止したりする恐れがあります。

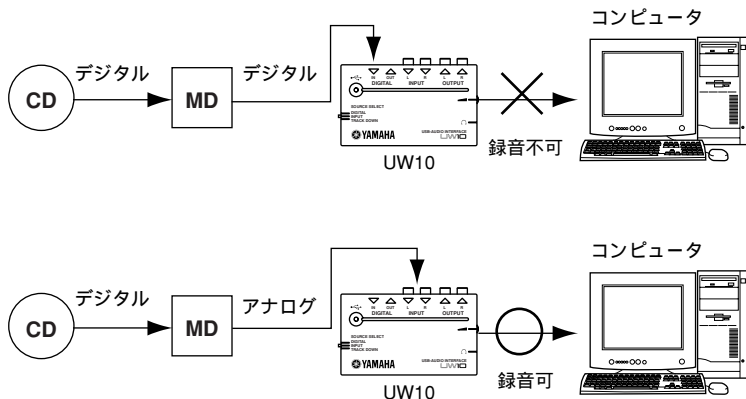
- デバイス認識中またはドライバロード中
- OS 起動途中または終了途中
- サスペンド (スリープ)、レジューム中
- オーディオアプリケーションが起動している状態

また、以下の行為をすると、同様にコンピュータがハングアップしたり、UW10 の機能が停止したりする恐れがあります。

- 頻繁なケーブルの抜き挿し
- オーディオデータ転送中のサスペンド (スリープ) モードへの移行、レジューム
- 大量にデータが流れている状態でのケーブルの抜き挿し、コンピュータの起動 / 終了、またはドライバのインストール / アンインストール

音楽著作権に関するご注意

音楽ソフトの著作権を保護するため、UW10はSCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)に対応しています。CDなどの市販ソフトからデジタルコピーしたMDなどのデータには、デジタル録音の世代情報が含まれています。その信号をDIGITAL IN端子にデジタル入力した場合、コンピュータでは録音できません。コンピュータに録音したい場合は、アナログ入力(INPUT端子)をお使いください。



本製品を利用することにより録音できる著作権曲 / サウンドデータについては、私的利用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、商業的な目的で使用する、著作権者の許可無く複製、転送または配信したり、不特定多数にむけて再生および演奏することを禁じられています。私的利用以外の目的でご使用の場合は、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物およびその利用に関する責任は当社では一切負いかねますのでご了承ください。

パッケージの内容

UW10のパッケージの中には、次のものが入っています。箱を開けたらまず入っているものを確認してください。

- UW10 本体
- CD-ROM (Windows/Macintosh ハイブリッド CD)
- USB ケーブル (約 2m)
- 取扱説明書 (本書)
- 保証書

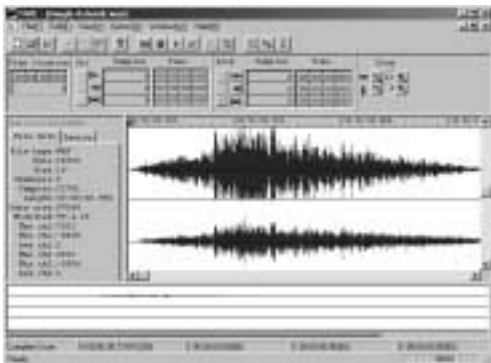
付属ソフトについて

同梱の CD-ROM には、Windows/Macintosh とも、以下のソフトウェアが付属しています。

(NOTE) 各ソフトウェアの動作環境は、UW10 本体の動作環境 (P.10) とは異なる場合があります。詳しくは、各ソフトウェアのオンラインマニュアルなどをご覧ください。

Wave Editor TWEplus (ウェーブエディター TWE プラス)

ウェーブファイルを録音 / 再生 / 編集するためのソフトウェアです。また、さまざまなフォーマット (MP3、WAV、AIFF) に対応しており、フォーマットの変換も可能です。「TWEplus_」フォルダの中の「Setup.exe」(Macintosh の場合は「TWEplus のインストール」) をダブルクリックするとインストーラが起動します。ここから先は画面の指示に従ってインストールしてください。インストール後、[スタート]メニュー [プログラム] [YAMAHA TWEplus] にある [YAMAHA Wave Editor TWEplus] を選択すると起動します。Macintosh の場合は、「TWEplus」フォルダ内の「TWEplus」をダブルクリックして起動します。使用方法について詳しくは、オンラインマニュアルをご覧ください。



ソフトシンセサイザー (S-YXG50)

コンピュータの CPU パワーを使って発音する、ソフトウェアタイプの XG 音源です。ソフトシンセサイザーをインストールすることによって、外部 MIDI 音源を接続しなくても、高音質な MIDI データの演奏を楽しむことができます。

「Syxg50_」フォルダの中の「Setup.exe」(Macintoshの場合は「S-YXG50 のインストール」)をダブルクリックするとインストーラが起動します。ここから先は画面の指示に従ってインストールしてください。

使用方法について詳細は、インストール後、[スタート]メニュー [プログラム] [YAMAHA SoftSynthesizer S-YXG50]にある[S-YXG50 ヘルプ]をご覧ください。Macintoshの場合は、「XGplayer for Mac」フォルダの中の「S-YXG50 マニュアル.pdf」をご覧ください。

(NOTE) Windows2000/XPをお使いのお客様へ

Windows2000/XPをお使いでS-YXG50からの再生音に音切れなどが発生する場合は、以下のように設定を変更することで、この問題を解決できる場合があります。

1. Windowsの「スタート」メニュー「プログラム」 「YAMAHA XG SoftSynthesizer S-YXG50」 「S-YXG50 設定」を選択して、ダイアログを表示します。
2. 「情報」のページを開きます。S-YXG50のバージョンが「Ver.4.01.xx Legacy」(xxには数字が入ります)と表示されている場合は、以下の手順に進みます。
3. Administrator 権限のあるアカウントでWindowsにログオンして、同梱 CD-ROMの「Syxg50_」フォルダを開きます。
4. 「Turbo.inf」または「Normal.inf」ファイルを右クリックすると表示されるポップアップメニューの中から「インストール」を選択します。
「Normal.inf」: 音切れする場合がありますが、ほとんどのサウンドカードで音が出ます(初期設定)
「Turbo.inf」: 音切れしにくいですが、一部のサウンドカードでは音が出ない場合があります
5. コンピュータを再起動します。

XGplayer (XG プレーヤー)

MIDI データを再生するためのソフトウェアです。XGplayerで再生した MIDI データをソフトシンセサイザーで鳴らし、さらに UW10 のトラックダウン機能を使って TWEplus でウェブファイルに録音することもできます。ソフトシンセサイザー S-YXG50 をインストールすると、いっしょにインストールされます。また、インストール後、[スタート]メニュー [プログラム] [YAMAHA SoftSynthesizer S-YXG50]にある[XGplayer]を選択すると起動します。Macintoshの場合は、「XGplayer for Mac」フォルダの中の「XGplayer for Mac V1.0」をダブルクリックして起動します。



Acrobat Reader(アクロバットリーダー)

PDF形式の取扱説明書を画面上で見えるためのソフトウェアです。「Acroread_」フォルダの中の「Ar40jpn.exe」(Macintoshの場合は「Japanese Reader Installer」)をダブルクリックするとインストーラが起動します。ここから先は画面の指示にしたがってインストールしてください。

ミッドラジオカラオケプレーヤー (Macintoshの場合はMidRadio Player)

MIDI や Sound VQ による音楽データをラジオ番組のように受信して再生するためのアプリケーションソフトです。インターネットに接続して、好みのチャンネルを選択するだけで、BGMのように音楽を連続して試聴することができます。また、気に入った曲データは、その場で購入することができます。Windowsの場合は、インターネット経由でカラオケを楽しむホームページ(パソカラホーダイ)を利用するための機能もあります。

「MidRadio_」フォルダの中の「mr2121kara.exe」(Macintoshの場合は「MidRadio Installer(J)_1501」)をダブルクリックするとインストーラが起動します。ここから先は画面の指示に従ってインストールしてください。

プレイヤーズ王国サウンドエンコーダー (Windows のみ)

自分で演奏した楽曲をエンコード (音声圧縮) するためのソフトウェアです。エンコードに関する技術的な知識がない人でも簡単に圧縮 (エンコード) ができるように、シンプルで分かりやすい操作を実現しています。なお、エンコードしたファイルは、ヤマハの SoundVQ ファイルと互換性があります。

「Player_」フォルダの中の「poe111b1.exe」をダブルクリックするとインストーラが起動します。ここから先は画面の指示に従ってインストールしてください。

動作環境

【Windows の場合】

対応 OS : Windows98/98SE/Me/2000/XP
対応コンピュータ : NEC PC98-NX シリーズ /IBM-AT ならびに互換機 (USB 端子装備)
CPU : Pentium II 233MHz 以上推奨

(NOTE) Windows2000 をお使いの場合は、Pentium II 266MHz以上推奨です。WindowsXP をお使いの場合は、Pentium II 300MHz 以上必要です。

メモリ : 64MB 以上推奨

(NOTE) WindowsXP をお使いの場合は、128MB 以上推奨です。

(NOTE) WindowsXP において、USB オーディオ再生中にノイズが発生する問題が、マイクロソフト社および弊社で確認されております。WindowsXP をお使いの場合は、マイクロソフト社が提供する修正モジュールをインストールする必要があります。同梱 CD-ROM の「forWinXP」フォルダの中の「Q307271_WxP_SP1_x86_JPN.exe」をダブルクリックするとインストーラが起動します。ここから先は画面の指示に従ってインストールしてください。

なお、修正モジュールの詳細については、以下のマイクロソフト社のサイトをご覧ください。
<http://support.microsoft.com/support/kb/articles/q307271.asp>

また、この問題の最新情報や日本語以外の OS をお使いの方については、以下のヤマハのサイトをご覧ください。

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

【Macintosh の場合】

対応 OS : MacOS 9.04 以上 (MacOS X は非対応)
対応コンピュータ : USB 端子を標準装備した Macintosh コンピュータ

(NOTE) ただし、一部の iMac については、アップルコンピュータ社が提供する「iMac アップデート 1.1」をインストールする必要があります。このプログラムでは、USB ソフトウェアの改良が行なわれています。詳細については、アップルコンピュータ社のホームページ (<http://www.apple.co.jp/>) などをご覧ください。

(NOTE) 一部の Macintosh コンピュータ (主に 2000 年夏以降に発売されたモデル) では、録音時にノイズがのることが確認されています。対策として、以下の方法を推奨しております。

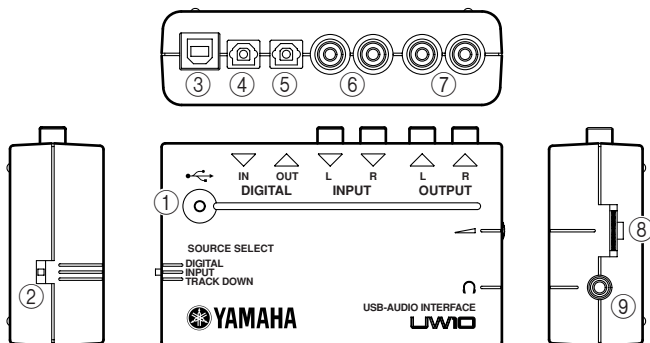
- ・ ネットワークに LAN で接続している場合は、LAN ケーブルを接続したままにします。
- ・ モデムを使用またはネットワークに接続していない場合は、コントロールパネルの「TCP/IP」の経由先を「PPP」に設定します。

最新の情報については、以下のヤマハのホームページの製品情報や FAQ をご覧ください。
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

CPU : G3 300MHz 以上推奨
メモリ : 30MB 以上の実メモリの空き容量を推奨

(NOTE) ただし、仮想メモリは「切」にしてください。

各部の名称と機能



- ① 電源 LED
USB 端子が接続されて、コンピュータから電源が供給されると点灯します。
- ② SOURCE SELECT(ソースセレクト)スイッチ
使用する入力端子 (INPUT 端子または DIGITAL IN 端子) を切り替えます。また、「TRACK DOWN」に設定すると、コンピュータから UW10 に入力されたオーディオ信号はそのままコンピュータに戻されます (P.15)。この場合、INPUT 端子と DIGITAL IN 端子は使用できません。
- ③ USB (ユーエスピー) 端子
USB ケーブルでコンピュータと接続する端子です。接続するときにはコンピュータの電源を切っておく必要はありません。
- ④ DIGITAL IN(デジタルイン) 端子
MD や CD プレーヤーなどのデジタル信号を入力する端子です。接続には光デジタルケーブル(角型プラグ) を使用します。また、サイドパネルの SOURCE SELECT スイッチを「DIGITAL」に設定します。
- ⑤ DIGITAL OUT(デジタルアウト) 端子
コンピュータからのデジタル信号をそのまま MD などのデジタルレコーダーに録音するための端子です。接続には光デジタルケーブル(角型プラグ) を使用します。
- (NOTE) INPUT 端子および DIGITAL IN 端子への信号を直接 DIGITAL OUT 端子に出力することはできません。
- ⑥ INPUT(インプット)L/R 端子
CD プレーヤーなどのオーディオ機器を接続するための端子です。入力された音声信号はコンピュータに録音することができます。接続には、RCA ビン L/R 端子を使用します。また、サイドパネルの SOURCE SELECT スイッチを「INPUT」に設定します。
- ⑦ OUTPUT(アウトプット)L/R 端子
アンプ内蔵スピーカーなどの再生装置やテープレコーダーなどの録音装置を接続するための端子です。接続には、RCA ビン L/R 端子を使用します。音量は VOLUME で調節します。
- ⑧ VOLUME(ボリューム)
ヘッドフォン端子と OUTPUT 端子に出力される音量を調節します。
- ⑨ ヘッドフォン端子
ステレオミニジャックのヘッドフォンを接続する端子です。ヘッドフォンの音量は、VOLUME で調節します。



禁止

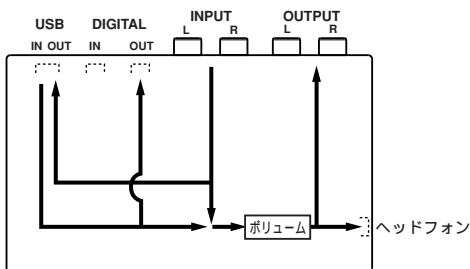
お使いのアプリケーションによっては、入力されたオーディオ信号をそのまま出力する場合があります。その場合、「TRACK DOWN」に設定するとオーディオ信号が発振し、耳を傷めたり再生機器を損傷したりする場合がありますので、「TRACK DOWN」は選択しないでください。

オーディオ信号の流れ

SOURCE SELECT スイッチの設定により、オーディオ信号の流れは以下のように異なります。

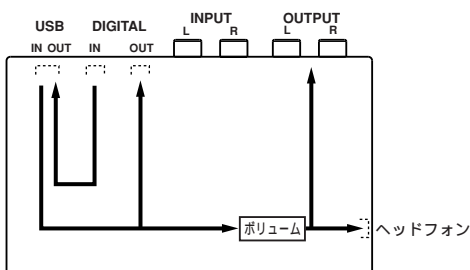
INPUT の場合

INPUT 端子からの信号を USB 経由でコンピュータに録音するためのモードです。



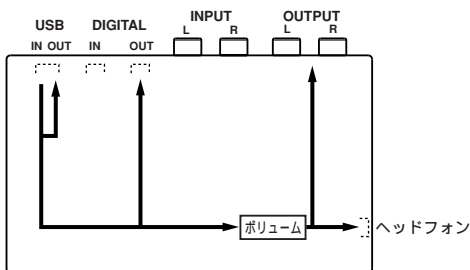
DIGITAL の場合

DIGITAL IN 端子からの信号を USB 経由でコンピュータに録音するためのモードです。



TRACK DOWN の場合

コンピュータ上で再生した信号を USB 経由でコンピュータに戻して録音するためのモードです (P.15)。



接続について

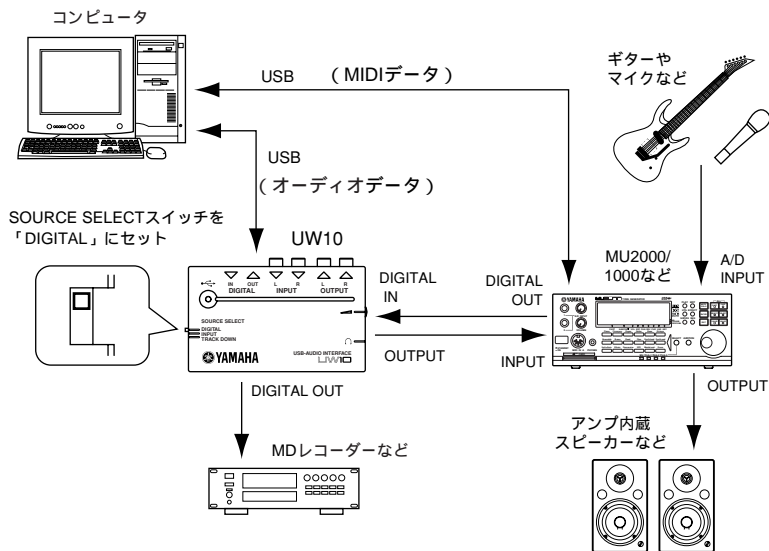
UW10 と他の機器を組み合わせることにより、以下のようにさまざまな用途での接続方法があります。

デジタル接続での高音質な音楽制作システム

MU2000/1000 などの音源と UW10 を組み合わせることで、高音質なレコーディングが可能になります。

コンピュータに UW10 と MU2000 を USB ケーブルで接続します。MU2000 から UW10 へは DIGITAL IN 端子で接続して、UW10 の SOURCE SELECT スイッチを「DIGITAL」にセットします。マイクやギターなどの楽器を MU2000 の A/D INPUT 端子に接続すると、MU2000 内蔵のエフェクトをかけたリ、MIDI 音源の出力とミックスしたりして UW10 にデジタル入力することができます。

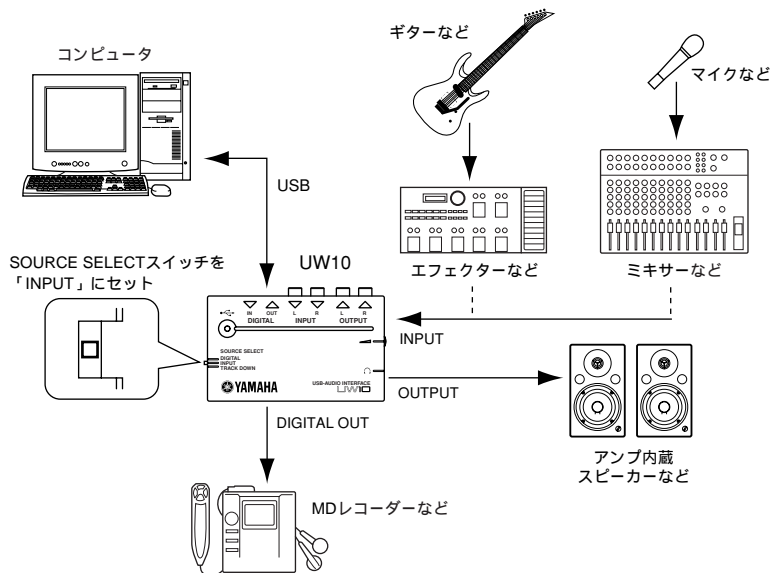
UW10 から MU2000 へはアナログ接続なので、アンプ内蔵スピーカーやヘッドフォンからはアナログに変換された信号をモニターすることになりますが、UW10 経由でのレコーディングはすべてデジタル信号になります。最終的に、MD レコーダーなどを DIGITAL OUT 端子に接続して録音すれば、すべてデジタルによる高音質なレコーディングが可能になります。



アナログ接続でのギターやマイクを使った音楽制作システム

ギターやマイクなどのアナログ入力をデジタルに変換して、レコーディングが可能になります。

ギターやマイクなどのアナログ入力は、エフェクターなどを経由して、UW10のINPUT端子に接続します。この場合、UW10のSOURCE SELECTスイッチは「INPUT」にセットします。アンプ内蔵スピーカーやヘッドフォンをUW10に接続します。



オーディオ機器との接続

デジタル / アナログにかかわらず、オーディオ機器からの入力をコンピュータ上でウェーブファイルとして取り込むことができます。また、コンピュータ上でウェーブファイルを編集して、オーディオ機器で録音することもできます。

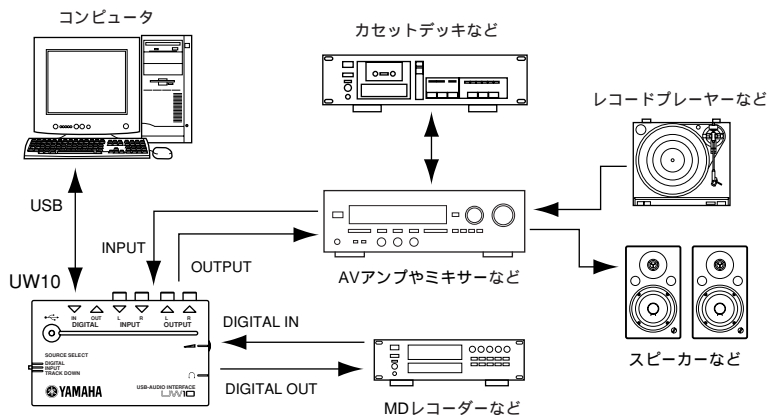
MDなどのデジタル信号はUW10のDIGITAL IN端子に、カセットテープやレコードなどのアナログ信号はINPUT端子に接続します。UW10のSOURCE SELECTスイッチは、使用する端子に応じて、「DIGITAL」または「INPUT」にセットします。必要に応じて、AVアンプやミキサーも接続します。

NOTE

お使いのオーディオ機器が出力レベルを調整できない場合、音楽ソースによっては録音される音量が大き過ぎて音が歪んでしまうことがあります。その場合は、以下の方法などでオーディオ機器の出力レベルを調整してください。

- ・オーディオ機器のPHONE端子とUW10を接続し、オーディオ機器のPHONEレベルを調整する
- ・ミキサーなど音量レベルを調整できる機器をオーディオ機器とUW10の間に接続する

また、デジタルオーディオ機器 (MD/CD プレーヤーなど) から録音する場合、光デジタル出力端子を装備しているものについては、別売の光デジタルケーブル (角型) でUW10と接続することをおすすめします。その場合、音楽ソースと同じ音量で録音されるため、調整は不要です。

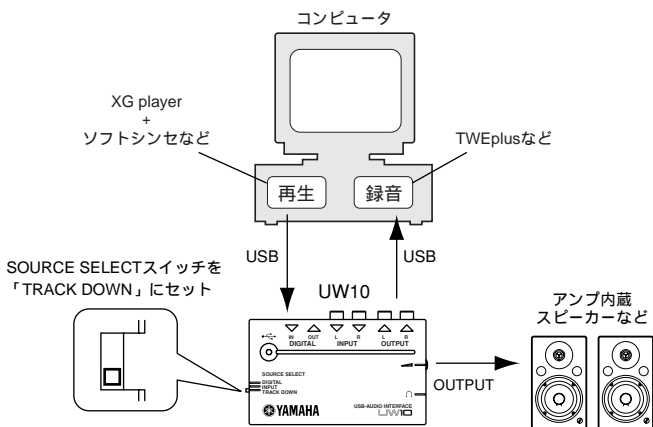


コンピュータ上でトラックダウン

複数のウェーブファイルやソフトシンセサイザーのオーディオ信号を一つのウェーブファイルにトラックダウンすることができます。また、トラックダウンしたウェーブファイルは、付属のウェーブエディター TWEplus を用いて MP3 に変換したりすることができます。コンピュータと UW10 を接続して、SOURCE SELECT スイッチを「TRACK DOWN」にセットします。MIDI やオーディオのデータを再生しながら、TWEplus などのオーディオアプリケーションで録音すればトラックダウンすることができます。

NOTE 外部 MIDI 音源の再生音なども含めてトラックダウンしたい場合は、あらかじめ再生音をウェーブファイルに変換してからトラックダウンしてください。

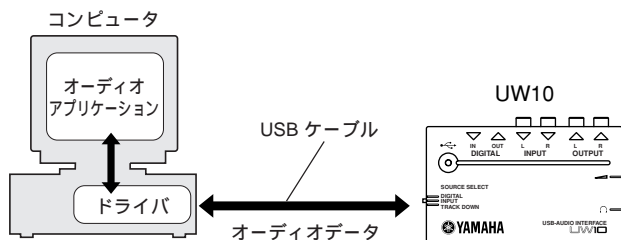
NOTE Macintosh で付属ソフトウェアをお使いの場合、XGplayer の再生 TWEplus の録音の順に操作してください (P.27)



ドライバのインストール

UW10 を実際に使用するためには、必要に応じて、コンピュータにドライバをインストールする必要があります。

USB オーディオドライバは、オーディオアプリケーションから USB ケーブルを通じて、UW10 にオーディオ信号を送信したり、逆に UW10 からオーディオアプリケーションにオーディオ信号を送信したりするためのソフトウェアです。



Windows をお使いの場合 P.16

Macintosh をお使いの場合 P.25

(NOTE) USB のバス電源で動作する USB ハブをお使いの場合、UW10 は動作いたしません。

[Windows の場合]

以下の手順で Windows に付属の USB オーディオドライバをインストールします。また必要に応じて、Windows の設定を行ないます。

(NOTE) アプリケーションや使っていないウィンドウをすべて閉じておいてください。また、ネットワーク接続やインターネット接続を切っておいてください。

(NOTE) UW10 の USB 端子以外の各端子に接続されている機器をすべて外しておきます。

(NOTE) UW10 以外の USB 機器をすべて外しておくことをおすすめします。また、USB ハブを使わずコンピュータの USB 端子に直接接続することをおすすめします。

(NOTE) お使いの CD-ROM ドライブのドライブ名 (D:、E:、Q: など) をあらかじめご確認ください。ドライブ名は「マイコンピュータ」の中の CD-ROM アイコンの下に表示されています。

(NOTE) 他の USB オーディオ機器をお使いの場合、ドライバのインストールが不要なことがあります。その場合も問題なくご使用いただけます。

Windows98/98SE をお使いの場合 P.17

WindowsMe をお使いの場合 P.20

Windows2000/XP をお使いの場合 P.21

Windows 98/98SE へのインストール

1. コンピュータを起動します。
2. 付属の USB ケーブルでコンピュータと UW10 を接続します。「新しいハードウェアの追加ウィザード」が自動的に表示されます。



3. [次へ]をクリックします。検索方法を選択する画面が表示されます。



4. 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。ドライバのインストール元を選択する画面が表示されます。



5. すべての項目のチェックマークを外します。[次へ]をクリックします。
6. ドライバを検出し、インストールの準備が終わると、次の画面が表示されます。「USB 互換デバイス」が表示されていることを確認後、[次へ]をクリックします。インストールが始まります。

(NOTE) ドライバのインストール中に Windows の CD-ROM を要求してくる場合があります。CD-ROM ドライブに Windows の CD-ROM を挿入して、読み込み先として CD-ROM ドライブの適切なフォルダ (D:\¥Win98¥ など) を指定してインストールを続行してください。ただし、お使いのコンピュータによって、ドライブ名、フォルダ名は異なります。



7. インストールが終わると、次の画面が表示されます。[完了]をクリックします。

(NOTE) コンピュータによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。



8. しばらく待つと、もう一度「新しいハードウェアの追加ウィザード」が自動的に表示されます。上記の手順3～7と同様にして、「USB オーディオデバイス」をインストールします。



これで、ドライバのインストールは完了しました。

WindowsMe へのインストール

1. コンピュータを起動します。
2. 付属の USB ケーブルでコンピュータと UW10 を接続します。「新しいハードウェアの追加ウィザード」が自動的に表示されます。



3. 「適切なデバイスを自動的に選択する (推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。
4. ドライバの検索、インストールが自動的に完了すると、「新しいハードウェアのインストールが完了しました」と表示されます。[完了]をクリックします。



これでドライバのインストールは完了しました。

Windows2000/XP へのインストール

1. コンピュータを起動します。
2. 付属の USB ケーブルでコンピュータと UW10 を接続します。「新しいハードウェアが発見されました」という画面が表示され、ドライバの検索、インストールが自動的に行なわれます。

この画面が消えれば、ドライバのインストールは完了です。

インストールの確認

以下の手順でドライバが正しくインストールされているかどうかを確認することができます。



1. 「マイコンピュータ」、「コントロールパネル」、「システム」をダブルクリックして開きます。

NOTE WindowsMeをお使いで、「コントロールパネル」の中に「システム」が表示されない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックします。

2. 「デバイスマネージャ」のタブをクリックすると、「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」の下に「USB オーディオデバイス」の表示を確認することができます。

NOTE Windows2000/XPの場合は、「ハードウェア」のタブをクリックしてから「デバイスマネージャ」をクリックします。

オーディオ出力先の設定

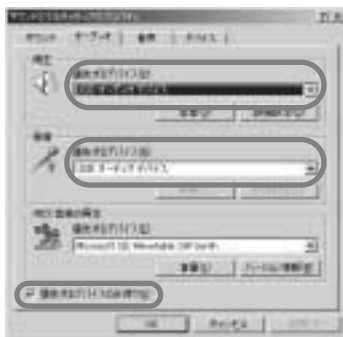
ここでは、Windows で UW10 を使うための基本的な設定を行ないます。お使いのアプリケーションでの設定については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

オーディオ再生 / 録音の設定

Windows 98



Windows Me



1. 「マイコンピュータ」 「コントロールパネル」 「(サウンドと) マルチメディア」をダブルクリックして開きます。
2. 「オーディオ」のタブをクリックします。
3. 「再生」と「録音」の優先するデバイスで、「USB オーディオデバイス」を選びます。

(NOTE) お使いのコンピュータによっては、「USB オーディオデバイス (1)」と表示されます。また、USB オーディオ対応機器を複数接続している場合は、(1)以外の数字になる場合もあります。

4. 「優先するデバイスのみ使う」のチェックボックスにチェックを入れます。
5. Windows Me をお使いの場合は、「音声」タブをクリックして、「音声の再生」と「音声のキャプチャ」も同様に「USB オーディオデバイス」を選択します。

(NOTE) 音声認識、Internet Phoneなどを他のオーディオデバイスで使用している場合、お使いの環境に合わせて設定が必要な場合があります。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

6. [OK] をクリックします。

音楽 CD の設定

音楽 CD をコンピュータの CD-ROM ドライブで再生して UW10 からデジタルのまま出力するためには、以下の設定を行ないます。

Windows98 の場合



1. 「マイコンピュータ」、「コントロールパネル」、「マルチメディア」をダブルクリックして開きます。
2. 「音楽 CD」タブをクリックします。
3. 使用する CD-ROM ドライブ (D: など) が正しく表示されていることを確認します。
4. 「この CD-ROM デバイスでデジタル音楽 CD を使用可能にする」にチェックを入れて、[OK] をクリックします。

WindowsMe/2000/XP の場合



1. 「マイコンピュータ」、「コントロールパネル」、「システム」をダブルクリックして開きます。
2. 「デバイスマネージャ」、「CD-ROM」(+の部分) お使いの CD-ROM のドライブ名を選択し、[プロパティ] をクリックします。

(NOTE) Windows2000/XP の場合は、「ハードウェア」タブをクリックしてから「デバイスマネージャ」をクリックします。

3. 「プロパティ」タブをクリックします。
4. 「この CD-ROM デバイスでデジタル音楽 CD を使用可能にする」にチェックを入れて、[OK] をクリックします。

ボリュームコントロールの設定

1. 「スタート」メニュー 「プログラム」 「アクセサリ」 「エンターテインメント」 「ボリュームコントロール」を選択します。
2. スライダーを動かして音量を調節します。

ウェーブ再生の確認

以下の手順で、ウェーブファイルの再生音が UW10 から聞こえるかどうかを確認することができます。

Windows 98



Windows Me



1. 「マイコンピュータ」 「コントロールパネル」 (「サウンドとマルチメディア」) 「サウンド」を開きます。
2. スピーカーアイコンがついている項目を選択し、再生ボタンをクリックして UW10 に接続したヘッドフォンなどから再生音が聞こえるかどうか確認します。

[Macintosh の場合]

MacOS に標準で装備されている Sound Manager を使う場合は、新たにオーディオドライバをインストールする必要はありません。

以下の手順で設定とウェーブ再生の確認を行なってください。

1. コンピュータを起動します。
2. 付属の USB ケーブルでコンピュータと UW10 を接続します。
3. 「アップルメニュー」 「コントロールパネル」 「サウンド」を選択します。

(NOTE) お使いの MacOS のバージョンによって、画面は異なります。

MacOS 9.04



MacOS 9.1



4. 「入力」のページで、「外部入力」として「USB オーディオ」を選択します。



禁止

トラックダウン機能(P.15)をお使いになる場合、「出力装置を通して音を再生する(ならず)」のチェックは必ず外してください。オーディオ信号が発振し、耳を傷めたり再生機器を損傷したりする危険があります。

5. 「出力」のページで、「内蔵」を選択します。

(NOTE) お使いの Macintosh によっては、「USB オーディオ」も表示される場合があります。その場合は「USB オーディオ」を選択してください。

6. 「警告音」のページでウェーブファイルをクリックし、UW10 に接続したヘッドフォンなどから再生音が聞こえるかどうか確認します。
7. 主音量のスライダーつまみをドラッグして、音量を調節します。

(NOTE) コンピュータ内蔵のスピーカーから出力したい場合は、UW10 とコンピュータを接続している USB ケーブルを抜いてください。「出力」の「サウンド出力装置の選択」では変更できません。

(NOTE) UW10 とコンピュータを接続した状態でヘッドフォンをお使いになる場合は、UW10 のヘッドフォン端子に接続してください。

[付属ソフトウェアの設定について]

付属ソフトウェアを UW10 と使用するためには、以下の設定を行なってください。

[Windows の場合]

- ウェーブエディター TWEplus
メニューバーの [Options] メニューから [Windows Sound Device Configuration] を選択し、以下のように設定します。



- ソフトシンセサイザー S-YXG50 および XGplayer
[スタート]メニュー [プログラム] [YAMAHA SoftSynthesizer S-YXG50] [SYXG50 設定] を選択し、以下のように設定します。



[Macintosh の場合]

- ソフトシンセサイザー S-YXG50 および XGplayer
メニューバーの [MIDI] メニューから [OMS ポート設定] を選択し、以下のように設定します。



- XGplayer と TWEplus を使用してトラックダウンする場合の注意
TWEplus で録音または再生時に、他のソフトウェアを有効にする (TWEplus 以外のウィンドウをクリックするなど) と、TWEplus での録音または再生が停止します。したがって、XGplayer で再生した MIDI データを録音する場合は、先に XGplayer の再生 (プレイボタンをクリックする) し、その後で TWEplus の録音 (Record ボタンをクリックする) を開始してください。
MIDI データの曲の先頭に無音部分が十分ないと、TWEplus で曲の先頭が録音されないことがあります。その場合は、以下の手順で録音してください。



選曲ボタン

1. UW10 の SOURCE SELECT スイッチを「TRACK DOWN」にセットします。
2. XGplayer の [選曲ボタン] をクリックして、選曲リストダイアログを開きます。
3. 「XGplayer for Mac」フォルダの中の「awm_songs」フォルダを選びます。
4. 選曲リストで「_Blank1.MID」などを選択し、[リストに追加] をクリックします。
5. TWEplus で録音したい MIDI データを選曲リストで選択し、[リストに追加] をクリックします。
6. [終了] をクリックして選曲リストダイアログを閉じます。
7. XGplayer を AUTO モード (上図のように [AUTO] が選択されている状態) にして、プレイボタンをクリックします。2 つの MIDI データが連続再生されます。
8. TWEplus のウィンドウに移動して、Record ボタンをクリックします。録音している間は、他のウィンドウをクリックしないでください。

NOTE 「_Blank1.MID」は、上記の手順で使用するための専用データです。無音データなので再生しても音は鳴りません。同じフォルダには、以下の 3 種類のファイルがあります。操作に合わせてお使いください。

- Blank1.MID : 2 秒程度の無音データです。
- Blank2.MID : 5 秒程度の無音データです。
- Blank3.MID : 10 秒程度の無音データです。

録音できるサンプリング周波数と OS/ 入力端子の関係

TWEplus などのソフトウェアで録音するときに録音可能なサンプリング周波数は、以下のよう使用する OS や入力端子によって異なります。

OS	SOURCE SELECT スイッチの設定 (使用する入力端子)	ソフトウェアでの録音周波数				
		11.025 kHz	22.05 kHz	32 kHz	44.1 kHz	48 kHz
MacOS 9.04 以上	DIGITAL	x	x			
	INPUT	x	x			
Windows98	DIGITAL	x	x			
	INPUT	x	x			
Windows98SE/ Me/2000	DIGITAL	x	x			
	INPUT					

再生される周波数と OS の関係

TWEplus や S-YXG50 などのソフトウェアで再生したときに DIGITAL OUT 端子から出力される信号の周波数は、以下のように使用 OS によって異なります。

DIGITAL OUT 端子に接続する機器 (MD レコーダーなど) がこのサンプリング周波数に対応していることをご確認ください。

(NOTE) OUTPUT 端子 (アナログ) からの出力は、表中のいずれのサンプリング周波数でも正しく再生されます。

OS	ソフトウェアでの再生周波数				
	11.025kHz	22.05kHz	32kHz	44.1kHz	48kHz
MacOS 9.04 以上	44.1kHz	44.1kHz	32kHz	44.1kHz	48kHz
Windows98	44.1kHz	44.1kHz	32kHz	44.1kHz	48kHz
Windows98SE/ Me/2000	48kHz	48kHz	32kHz	44.1kHz	48kHz

仕様

オーディオ録音再生チャンネル数

録音：ステレオ 1 系統
再生：ステレオ 1 系統

サンプリング周波数

入力：32kHz、44.1kHz、48kHz
出力：32kHz、44.1kHz、48kHz

接続端子

デジタル入力端子 (光角型プラグ)
デジタル出力端子 (光角型プラグ)
ライン入力端子 (RCA ピン L/R)
ライン出力端子 (RCA ピン L/R)
USB 端子
ヘッドフォン端子 (ステレオミニジャック)

電源

USB のバス電源

外形寸法

111(W) × 65(D) × 31(H) [mm]

質量

95g

別売品

光デジタルケーブル (角型プラグ)

仕様および外観は改良のため予告無く変更する場合があります。

故障かな？と思ったら (Q & A)

ドライバがインストールできない

- USB ケーブルは正しく接続されていますか？
USB ケーブルの接続を確認してください (P.13)。
一度 USB ケーブルを抜いて、再度挿入してください。
- (Windows の場合) お使いのコンピュータ側で USB が使用可能になっていますか？
初めて UW10 をコンピュータに接続した際、「新しいハードウェアの追加ウィザード」 (P.16) が自動的に表示されないときは、コンピュータ側で USB を使用しない設定になっている場合があります。以下の方法で確認できます。
 1. [コントロールパネル] [システム] ([ハードウェア]) [デバイスマネージャ] を開きます。
 2. 「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」や、その下にある「USB ルート ハブ」などに「！」や「×」のマークがついていないことを確認してください。「USB ルート ハブ」などに「！」や「×」のマークがついている場合は、USB が使用できない設定になっています。詳細については、お使いのコンピュータの取扱説明書をご参照ください。

- (Windows の場合) 不明なデバイスが登録されていませんか？
何らかの原因によりドライバのインストールに失敗すると、UW10 が「不明なデバイス」として認識されてしまいます。以降インストールができなくなる場合がありますので、以下の手順で「不明なデバイス」を削除してください。
 1. [コントロールパネル] [システム] ([ハードウェア]) [デバイスマネージャ] を開きます。
 2. 「種類別に表示」にチェックが入った状態で、「その他のデバイス」がないか確認します。
 3. 「その他のデバイス」がある場合、ダブルクリックして、その下に「不明なデバイス」があれば、選択して [削除] ボタンをクリックします。
 4. USB ケーブルを UW10 から抜いて、接続し直します。
 5. 以下、ドライバをインストールし直します。
- USB ハブをお使いではありませんか？
USB のバス電源で動作する USB ハブに接続している場合、UW10 は動作いたしません。
UW10 をコンピュータに直接接続してインストールを試してください。また、USB ポートが複数ある場合は、他の USB ポートもお試しください。
- 他の USB 機器が接続されていませんか？
他の USB 機器が有効になっている時にインストールできない場合があります。プリンターやスキャナーなどの機器をはずしてからお試しください。
他の USB オーディオ機器をお使いの場合、ドライバのインストールが不要なことがあります。その場合も問題なくご使用いただけます。

UW10 が正常に動作しない、または音が鳴らない

- ドライバはインストールしましたか (P.16)？
- USB ケーブル、MIDI ケーブルやオーディオケーブルなどは正しく接続されていますか (P.13)？
- 音源、オーディオ機器、アプリケーション、OS などの音量設定は上がっていますか？
- ご使用のオーディオアプリケーションで適切なデバイスを選択していますか？
- サンプリング周波数の設定は適切ですか？
P.28 の表を参照
- サンプリング周波数やビット数の異なるウェーブファイルが混在していませんか？
お使いのオーディオアプリケーションによって、サンプリング周波数やビット数の異なるウェーブファイルを同時には再生できない場合があります。
- (Windows で音楽 CD を再生できない場合)
「この CD-ROM デバイスでデジタル音楽 CD を使用可能にする」にチェックを入れてください (P.23)。
- (MD や CD プレーヤーからのデジタル入力が鳴らない場合)
SOURCE SELECT スイッチは正しく設定されていますか (P.13)？
著作権保護された信号を入力していませんか (P.7)？

音が途切れる、または歪む

- お使いのコンピュータは推奨環境を満たしていますか (P.10)？
- 他のアプリケーションやデバイスドライバは動作していませんか？
不要なアプリケーションは終了してください。
- 複数のウェーブファイルを再生していませんか？
複数のウェーブファイルを同時に再生すると、お使いのコンピュータの能力によっては、再生音が途切れたりすることがあります。

- 数分にわたるオーディオデータの録音 / 再生をしていませんか？
お使いのコンピュータによっては、オーディオデータの処理速度や外部記憶装置へのアクセスなどのさまざまな要因により、処理能力が低下する場合があります。その場合、以下のように設定を変更することで改善できる場合もあります。
[コントロールパネル] [(サウンドと) マルチメディア] [オーディオ] [詳細プロパティ]
ハードウェアアクセラレータ：最大
サンプルレート変換の質：標準
[コントロールパネル] [システム] ([ハードウェア]) [デバイスマネージャ]
[ディスクドライブ] または [ハードディスクコントローラ] など
高速に使用するモードに設定 (DMA モードをオンにするなど)
高速なドライブにアップデート

NOTE ドライバのアップデートについては、ハードディスクメーカーのホームページなどでご確認ください。

[コントロールパネル] [システム] ([詳細]) [パフォーマンス]

NOTE コンピュータについて詳しい知識のある方以外、この設定は変更しないことをおすすめします。

ファイルシステムが適正に設定されているかなどをご確認ください。また、空きメモリが十分 (128MB 以上) あり、録音再生するウェーブファイルがそれほど大きくない場合、仮想メモリの設定を変更することで改善できる場合もあります。その他、お使いのコンピュータによっては、ハードディスクコントローラなどのデバイスドライバや BIOS などのアップデートが必要な場合もあります。詳しくは、お使いのコンピュータのサポート窓口やホームページなどでご確認ください。

正常にサスペンド、レジュームができない

- オーディオアプリケーションが起動している状態で、サスペンドに移行していませんか？
- お使いのコンピュータによっては、サスペンド、レジュームできない場合があります。その場合は、USB ケーブルを接続しなおしてください。

録音した音量が小さい

- コンピュータのボリューム設定が小さくなっていませんか？
(Windows の場合) 「ボリュームコントロール」で音量を最大値に設定することをおすすめします (P.24)。

音にノイズがのる

- (Macintosh の場合)
一部の Macintosh コンピュータ (主に 2000 年夏以降に発売されたモデル) では、録音時にノイズがのることが確認されています。対策として、以下の方法を推奨しております。
 - ネットワークに LAN で接続している場合は、LAN ケーブルを接続したままにします。
 - モデムを使用またはネットワークに接続していない場合は、コントロールパネルの「TCP/IP」の経由先を「PPP」に設定します。

ユーザーサポートのご案内

■ 質問の受付について

ヤマハデジタル商品は、常に新技術 / 高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担とわずらわしさを軽減できるような商品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究 / 改善いたしております。

しかし、一部高機能デジタル商品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどのいろいろな知識や経験を必要としてしまうものがあります。

実際の操作に関して、基本項目は取扱説明書に説明いたしておりますが、「記載内容が理解できない」「手順どおりに動作しない」「記載が見つからない」といったさまざまな問題が起る場合があります。

そのようなお客様への一助となるよう、弊社では CBX インフォメーションセンターを開設いたしております。

お気軽にご利用いただけますようご案内申し上げます。

お問い合わせの際には、「製品名」、「製造番号」、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」をお知らせください。

また、「接続機器（ご使用のパソコンの種類など）」、「操作の手順やそれによる結果と状態」、「入力されたデータの内容」なども詳しくお知らせください。お客様からの情報が不足している場合はご返事できない場合があります。

ヤマハ CBX インフォメーションセンター

TEL : 053 - 460 - 1667

受付日 月曜日～金曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）

受付時間 10:00～12:00 / 13:00～17:00

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

■ 保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡しますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

■ 保証期間

お買い上げ日から 1 年間です。

■ 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは無償修理規定をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。
下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、ランプ、接続端子など

■ 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後 8 年です。

■ 持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

■ 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

■ 無償修理規定

1. 正常な使用状態（使用機器本体の取扱説明書などの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理を致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げ販売店にご依頼ください。
3. ご贈答品、ご購入後の修理についてお買い上げ販売店にご依頼できない場合には、最寄りのヤマハ株式会社サービスセンターにお問い合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - (1) 保証書のご提示がない場合
 - (2) 保証書にお買い上げの年月日、お客様、お買い上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (4) お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - (6) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

保証書は無償修理規定に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、ヤマハ株式会社サービスセンターにお問い合わせください。

■ ヤマハ電気音響製品サービス拠点（修理受付および修理品お持込み窓口）

北海道サービスステーション 〒 064-8543	札幌市中央区南 10 条西 1 丁目 1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6108
仙台サービスステーション 〒 984-0015	仙台市若林区卸町 5-7 仙台卸商共同配送センター 3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター 〒 143-0006	東京都大田区平和島 2 丁目 1 番 1 号 京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F	TEL (03) 5762-2121
浜松サービスステーション 〒 435-0016	浜松市和田町 200 ヤマハ(株) 和田工場内	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター 〒 454-0058	名古屋市中区玉川町 2-1-2 ヤマハ(株) 名古屋流通センター 3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター 〒 565-0803	吹田市新芦屋下 1-16 ヤマハ(株) 千里丘センター内	TEL (06) 6877-5262
四国サービスステーション 〒 760-0029	高松市丸亀町 8-7 (株) ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL (087) 822-3045
広島サービスステーション 〒 731-0113	広島市安佐南区西原 6-14-14	TEL (082) 874-3787
九州サービスステーション 〒 812-8508	福岡市博多区博多駅前 2-11-4	TEL (092) 472-2134
[本社] CS センター 〒 435-0016	浜松市和田町 200 ヤマハ(株) 和田工場内	TEL (053) 465-1158

■ デジタル楽器に関するお問い合わせ窓口

PA・DMI 事業部 PE 営業部 国内営業課 〒 430-8650	静岡県浜松市中沢町 10-1	TEL (053) 460-2432
EM 営業統括部 営業推進課 〒 108-8568	東京都港区高輪 2-17-11	TEL (03) 5488-5476
北海道営業所 〒 064-8543	札幌市中央区南 10 条西 1 丁目 1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6113
仙台営業所 〒 980-0804	仙台市青葉区大町 2-2-10	TEL (022) 222-6147
名古屋営業所 〒 460-8588	名古屋市中区錦 1-18-28	TEL (052) 201-5199
大阪営業所 〒 542-0081	大阪市中央区南船場 3-12-9 心斎橋プラザビル東館	TEL (06) 6252-5231
九州営業所 〒 812-8508	福岡市博多区博多駅前 2-11-4	TEL (092) 472-2130

■ 「MidRadio Player」および「プレイヤーズ王国サウンドエンコーダー」に関するお問い合わせ

お問い合わせ情報は、以下のページをご参照ください。
<http://www.music-eclub.com/help/help04-4.html>

ヤマハデジタル楽器・DTM 製品ホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>

「音楽する人、音楽したい人のための頼れるポータルサイト」

ミュージックイクラブ・ドットコム

<http://www.music-eclub.com>

@nifty

「GO FMIDIVA」コマンドで FMIDIVA に入ると、ヤマハデジタル楽器および DTM 製品のフォーラムがございます。

電子会議

#16 ヤマハ Synth & CBX 情報ボード

#17 ヤマハ Synth & CBX ユーザーズカフェ

#18 ヤマハ Synth & CBX 相談室

データライブラリー

#8 ヤマハ / デジタル CBX

所在地・電話番号などは変更されることがあります。

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、<ソフトウェア使用許諾契約>を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

ディスクの包装が解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。

ご同意いただけない場合は、未開封のまま速やかに（14日以内）ご返却ください（ただし、本ソフトウェアをソフトウェアパッケージの一部として、またはハードウェア商品の付属ソフトウェアとしてお求めいただいた場合、本ソフトのみの返却はお受けいたしません）

ソフトウェア使用許諾契約

1. 著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、本ソフトウェアを構成するプログラム、データファイル及び今後お客様に一定の条件付きで配布され得るそれらのバージョンアッププログラム、データファイル（以下「許諾プログラム」といいます）を、お客様ご自身が一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用する権利を許諾します。これらの許諾プログラムが記録されているディスクの所有権は、お客様にあります。ただし、MidRadio Player およびプレイヤーズ王国サウンドエンコーダーに含まれる TwinVQ 技術に関する著作権その他の知的所有権は、日本電信電話株式会社（以下 NTT といいます）に帰属します。弊社と NTT との間の TwinVQ 技術に関する使用許諾契約が終了した場合は本ソフトウェア（MidRadio Player およびプレイヤーズ王国サウンドエンコーダー）使用許諾契約書上の権利者は NTT になります。

2. 使用制限

許諾プログラムは著作権を持つ情報を含んでいますので、その保護のため、お客様が許諾プログラムを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他の方法により、人間が感得できる形にすることは許されません。許諾プログラムの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、転売、頒布または許諾プログラムの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。許諾プログラムをネットワークを通して別のコンピュータに伝送することも許されません。MidRadio Player を利用することにより入手できる著作権曲については、商業的な目的で使用すること、著作者の許可無く複製、転送または配信したり、不特定多数に向けて再生および演奏すること、入手できるデータの暗号を権利者の許可無く解除したり、電子すかしを改編したりすることは許されません。また、本ソフトウェアを利用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信したり、弊社の許可無く本ソフトウェアの利用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。

3. 終了

本使用条件はお客様が許諾プログラムをお受け取りになった日に発効します。本使用条件による使用許諾は、お客様が著作権法または本使用条件の条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに許諾プログラムとその複製をすべて廃棄しなければなりません。

4. 製品の保証

弊社は、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日間に限り、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。

5. 責任の制限

弊社は、許諾プログラムの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生や第三者からの賠償請求の可能性のあることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

6. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション（以下「第三者ソフトウェア」といいます）を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本使用条件にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。

弊社は、第三者ソフトウェアの商品性、および特定の目的に対する適合性の保証その他一切の保証を、明示であると黙示であることを問わず、一切いたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様が負担しなければなりません。

弊社は、第三者ソフトウェアの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

7. 一般事項

本契約は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。

ヤマハ株式会社

M.D.G., PA•DMI Division, Yamaha Corporation
© 2001 Yamaha Corporation

110AP-01A0 Printed in China

